

令和4年度

地域学校協働活動

実践事例集



宮城県大河原教育事務所

発刊にあたって

新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、未だ収束の兆しは見えない状況ですが、社会は徐々に「ウィズコロナ」「アフターコロナ」を見据えた活動再開期に移行しています。今年度に入り、学校教育・社会教育ともに感染予防に十分配慮しながら、少しずつ人と人とが触れ合う活動が行われるようになり、児童生徒や地域住民の皆様の笑顔あふれる姿が見られるようになってきました。その一方で、社会全体のデジタル化が進められる中、新たな学びの形と、これまで培ってきた直接体験で得られる学びの形を融合・深化させることが、多様な学びの実現につながっていくものと思われます。

このように新たな時代への変化が求められる状況の中、大河原管内2市7町教育委員会と仙南地域広域行政事務組合教育委員会、管内各小・中学校の皆様におかれましては、日頃より学校教育活動及び地域学校協働活動の推進に御尽力いただきありがとうございますことに感謝申し上げます。また、各市町における確かな実践を御紹介いただき「地域学校協働活動実践事例集」が発刊できましたこと、大変喜ばしく思います。

2021年1月に中央教育審議会は、2020年代をとおして実現を目指す「令和の日本型学校教育」のあり方として、「個別最適な学びの実現」と「協働的な学びの実現」という2つの柱を示しました。これらは学校教育のみならず、生涯学習全体を通じて大切にされるべきものであり、社会教育の中で語られる「ウェルビーイング」や「共生社会の実現」、「障害者の生涯学習充実のための地域コンソーシアムの設立」などの新たな動きにも通底する考えです。一人一人の学びを大切に、多様な人々とともに豊かな学習を展開するためには、学校と地域社会がより一層手を取り合い、互いをパートナーとして連携・協働する必要があります。

「地域学校協働活動」とは、地域の様々な立場の住民が参画し、学校を含めた地域全体で子供たちの学びや成長を支える活動です。その中で最も大事にしていきたいことは、多様な「ひと」「もの」「こと」との出会いです。この「地域学校協働活動実践事例集」には、各市町教育委員会と仙南地域広域行政事務組合教育委員会が取り組んでいる事業実践の事例や、各学校が実践している地域と連携した教育活動の様子を掲載しています。管内における多様な「ひと」「もの」「こと」との出会いが数多くまとめられておりますので、ぜひ御高覧いただくとともに、今後の活動の参考にしていただければ幸いです。

結びに、本冊子を発刊するに当たりまして、御協力をいただきました管内各教育委員会の皆様及び関係各位に心より感謝を申し上げ、発刊の言葉といたします。

令和5年3月

宮城県大河原教育事務所
所長 高橋 紳一郎

目 次

発刊にあたって 大河原教育事務所長

- 白石市教育委員会 白教委 1～4
実践紹介（深谷地区に伝わる神明神楽の体験学習） 白教委 5～6
学校での取組紹介（13校） 白教委 7～10
- 角田市教育委員会 角教委 1～4
実践紹介（北根の田植え踊りをしよう） 角教委 5～6
学校での取組紹介（8校） 角教委 7～8
- 蔵王町教育委員会 蔵教委 1～4
実践紹介（マナー講座） 蔵教委 5～6
学校での取組紹介（8校） 蔵教委 7～8
- 七ヶ宿町教育委員会 七教委 1～4
実践紹介（コミュニティ・スクール推進フォーラム） 七教委 5～6
学校での取組紹介（2校） 七教委 7
- 大河原町教育委員会 大教委 1～4
実践紹介（放課後子供教室） 大教委 5～6
学校での取組紹介（5校） 大教委 7～8
- 村田町教育委員会 村教委 1～4
実践紹介（むらたっ子応援団） 村教委 5～6
学校での取組紹介（4校） 村教委 7
- 柴田町教育委員会 柴教委 1～4
実践紹介（ものづくり体験） 柴教委 5～6
学校での取組紹介（9校） 柴教委 7～9
- 川崎町教育委員会 川教委 1～4
実践紹介（さつまいも収穫） 川教委 5～6
学校での取組紹介（5校） 川教委 7～8
- 丸森町教育委員会 丸教委 1～4
実践紹介（干し柿づくり） 丸教委 5～6
学校での取組紹介（3校） 丸教委 7
- 仙南地域広域行政事務組合教育委員会 広 域 1～2

白石市の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取組について

平成 24 年度より家庭教育支援活動・学校教育支援活動・地域活動を中心に白石市協働教育推進事業を推進してきた。平成 29 年度より市の「放課後子ども総合プラン」に基づき「子どものため」「共に学び育つ（パートナーシップ）」をコンセプトに市民による市民のための地域学校協働活動として着実に成果をあげてきた。

令和 2 年 7 月には、下記に示すとおり地域学校協働本部を設立して、地域の支援団体及び個人とのネットワークの拡充を図り、より充実した活動を推進できるよう目指している。

また、小原小中学校に学校運営協議会を設立し、地域と一体となった学校運営と支援体制が整い、より充実した支援が可能となった。

さらに、今年度の重点事業として、講話ボランティアのデータベース化及び学校と支援者間の関係性の強化を図るための交流や広報活動を推進してきた。

2 地域学校協働本部について

令和 2 年 7 月に白石市地域学校協働本部を設立した。

本部には、本部長、副本部長、統括コーディネーター、地域コーディネーター（4 名）、推進員（12 名）地域連携担当者（各学校 1 名）を置き、さらに、各単位 PTA やまちづくり協議会等にも連携担当者を置きネットワークの充実を図ってきた。

また、ボランティア単独の組織として「読み聞かせの会」のほか、新たに「登山ボランティアの会」、「スキーボランティアの会」を設立した。今後「浄書の会（仮称）」等の設立を目指している。

3 事業紹介

（1）家庭教育支援

事業名	内 容	備 考
しろいし家庭教育支援 チーム主催事業 「親の学びのプログラム」 出前講座	しろいし家庭教育支援チーム「ペアレント らん」が講師となり、小学校で行われる一 日入学説明会等の機会を活用し、未就学児 の保護者向けに、また中学生には家庭科の 授業の中で出前講座を実施した。 ・未就学児保護者対象 テーマ「子どもが小学校へ入学」 ・中学生対象 テーマ「親になるということ ～こんにちは！赤ちゃん～」	実施校 5 校 ○未就学児保護者対象 ・大鷹沢小学校 ・福岡小学校 ・深谷小学校 ○中学生対象 ・白石中学校 ・小原中学校
学ぶ土台づくり親の学び 研修会 ※宮城県主催・市教委共催 事業	保育園、幼稚園の保護者を対象に、講師に よる講話を実施した。	実施園 3 園 ・白石みのり保育園 ・白石はるかぜ保育園 ・白石市第二幼稚園
子育て応援 ハッピータイム	親子ヨガ、ムーブメント活動等の親向けの ワークショップを開催。同世代の子を持つ 親同士の交流を図りながら、子育ての不安 や悩みを解消し、親の学びに繋がってい る。	会場：中央公民館 0～1 歳児クラス：10 回 2 歳児以上クラス：10 回

(2) 地域活動支援

事業名	内容	備考
わんぱく教室	体験学習などを通じて、青少年の健全育成を図るとともに、個々の創造性や集団での協調性、自主性を養成し生活力を身に付ける活動を行っている。今年度も地域の方々の協力を得て、交流が深まる活動を行った。 【通年開催】ジュニア・リーダーと遊ぼう・わんぱく大冒険キャンプ・わんぱく食育教室・わんぱくお天気防災教室・わんぱく農業体験・わんぱくりサイクル教室・わんぱくクリスマス会	市内小学5・6年生対象(申込者20名) 中央公民館・市内畑・蔵王自然の家ほか
第45回 こどもまつり	野外活動・レクリエーション等を通して青少年の豊かな人間形成と相互の親睦交流を図る。シャボン玉・ペットボトルボウリング・人形劇・丸太切り体験等の遊びコーナーあり。	主催：白石市子どもまつり実行委員会・白石市・白石市教育委員会 ※新型コロナウイルスの影響により中止
ジュニア・リーダー 研修及び派遣事業	J・Lを対象に、子ども会の指導者としての知識や技術の習得を目指す。各地区の子ども会や児童館等の要望に応じゲームやレクダンス等をとおしての青少年の健全育成を図る。	会場：中央公民館・南蔵王野営場・各地区子ども会等
第30回白石市生涯 学習フェスティバル 事業	市民総参加による事業を通年にわたり積極的に展開し、市民が生涯学習に接する機会を広く設け、「ひとづくり」「まちづくり」の推進を目的として行う。 ・ベガルタ仙台サッカー&ルール教室・白石城及び武家屋敷周辺に“白石を詠む”・新春囲碁・将棋大会・公民館まつり他	主催：白石市生涯学習フェスティバル実行委員会 会場：中央公民館・ホワイトキューブ・白石市内小中学校・白石城・武家屋敷他
「家庭の日」 推進事業	地域全体で家庭のもつ役割の重要性を再認識し、青少年の健全育成と非行防止の啓発を図る。毎月第三日曜日を「家庭の日」と定め推進。市内小中学生対象に絵画・ポスターを募集し作品展開催。入選作品で啓発ポスターを作成。	主催：生涯学習課・青少年のための白石市民会議



【親の学びのプログラム出前講座】



【わんぱく教室 お天気・防災教室】

(3) 学校教育支援

事業名	内容	備考
1 学校支援ボランティア派遣 (1) 登下校安全指導 (2) 部活動等の指導 (3) 自然体験活動 (4) 防災活動 (5) 環境整備 (6) 図書・読み聞かせ (7) 学習支援 (8) 地域理解 (9) キャリア教育 (10) 行事 (11) その他	学校からの支援要請に応じて、ボランティアを派遣する。 通年から月1程度、登下校時に小学校で実施 中学校で卓球、柔道、剣道等の指導 茶道クラブ・科学クラブの指導 登山8小中学校・スキー4小中学校 地域の消防団と協働し、放水・消火器体験 除草作業・校内清掃・EM菌の活用 読み聞かせは、週1から月1程度 図書の整理から図書の案内・掲示等 家庭科支援（調理実習等）・水泳の指導 英語活動支援・稲作体験活動 着付け教室・福祉体験活動 伝統文化体験（能楽堂での日本舞踊・茶道）和太鼓活動 地域探訪（逆さケヤキ） 白石和紙作り・講話・こけし絵付け体験 職場体験前に職業人による講話講師の派遣 講師等のデータベースの作成 運動会・クリスマス会・豆まき等 賞状の浄書等・ベルマーク整理	白一小，白二小，越河小 白石中，東中，福岡中 白一小コロナ終息後 大鷹沢小等 PTA活動等も含む 白一小，白二小，福岡小 大鷹沢小，白川小，小原小中，越河小，深谷小 白一小，大平小，深谷小 可能な範囲で実施 東中 全小学校 福中，大鷹沢小，小原小 大平小 大鷹沢小，小原小中 白石中，東中 講話者募集中 第二幼稚園
2 職場体験関係	中学校職場体験学習にあたり，市内事業所の受け入れ先リストの作成，新規の開拓，コロナ禍により受け入れの確認	全中学校（2学年） ※コロナ禍により可能な範囲で実施
3 研修活動	地域学校協働活動研修会・講演・情報交換 登山ボランティア研修会（南蔵王縦走6月4日実施）	12月8日開催50名参加 ボランティア10名参加
4 広報活動	広報誌「清流」の発行 地域活動の紹介	幼小中に配布 自治会を通して回覧
5 学び支援活動	中3学力アップ講座（毎週土曜日） ボランティア4名	中央公民館で24回実施



【広報誌 清流】



【R4年5月登山ボランティア表彰式】



【R4年12月研修・情報交換会】

(4) 放課後子ども教室

事業名	内容	備考
放課後子ども教室	放課後や週末等に小学校の余裕教室や公的な施設等を活用して、子供たちの安心・安全な活動拠点（居場所）を設けた。子供たちを地域社会の中で心豊かで健やかに育むことを目標に、地域住民の参画を得て様々な体験活動や交流活動等を実施した。 自由遊び・伝統行事体験・軽運動・絵本紙芝居等の読み聞かせ・運動遊び（ムーブメント活動）・造形活動・手作りゲーム他	会場：各小学校の体育館や多目的室，地区公民館 実施学校 白一小（児童クラブ一体型） 白二小（児童クラブ連携型） 越河小
放課後子ども教室 スタッフ合同研修会	スタッフの人材育成のため研修会を行うとともに、悩みや課題の共有をするため情報交換会を年2回程度実施している。 昨年度に引き続き、研修会において、コロナ対策方法等の共有を行った。	会場：中央公民館



【白石第一小学校 放課後子ども教室】



【白石第二小学校 放課後子ども教室】

4 成果と課題

(1) 成果

家庭教育支援については、今年度も「親の学びのプログラム」出前講座や「子育て応援ハッピータイム」を開催することで、将来親になる中学生への学び支援や親同士の交流を通して子育ての不安や悩みを解消するなど、親の学びに繋げることができた。

地域活動支援については、小学5・6年生を対象に「わんぱく教室」を開催するなど、様々な体験学習を通じて個々の創造性や協調性，自主性を育み，世代間の交流を深めることができた。

学校教育支援については、学校支援ボランティアや連携担当者等を対象に「研修・情報交換会」を開催し，地域課題や推進の方針等について共通の理解を図ることができた。

放課後子ども教室については，地域住民の参画を得ながら様々な体験活動や交流活動を実施し，子供たちの安心・安全な活動拠点を設けることができた。また，地域住民の参画により，地域の活性化や生きがいがいづくりに繋げることができた。

(2) 課題

ボランティアの高齢化による後継者不足やコロナ禍による活動の制限など課題はあるが，引き続き学校や支援者相互の理解の下，地域学校協働活動を推進していきたい。また，地域資源をより一層生かした文化の発展や伝承に努めるため，地域学校協働活動の啓発活動とともに，支援者と学校との信頼関係の醸成を図るなど，地域学校協働本部や各種団体と連携・協力した支援体制の充実を図っていきたい。

白石市 白石市立深谷小学校 「深谷地区に伝わる神明神楽の体験学習」

○市町名 白石市

○学校名 白石市立深谷小学校
第5・6学年 12名

○期 日 令和4年9月27日(火)

○内 容

- ・総合的な学習の時間として、郷土の先人の思いや伝統文化の良さに触れ、郷土のすばらしさに対する思いを深めるとともに、シビックプライドにつながる未来の担い手、伝承者としての誇りと自発性を育むことをねらいとした活動。

○主な活動計画

- 9月27日(火) 深谷神明神楽の体験学習①
- 10月22日(土) 学習発表会での演舞
- 11月11日(金) 深谷神明神楽の体験学習②
- 12月 1日(木) 山元町立坂元小学校との
神楽交流会
(白石市古典伝承の館
碧水園にて実施)

○講 師

深谷神明神楽保存会

日下 秀雄 氏 大野 保男 氏



○児童の声

学習発表会で演じる神楽のために、神楽保存会の方々に一つ一つの動きのポイントを教えてくださいました。私の学習発表会での目標は、細かい動きでも心をこめて完璧に踊ることです。その細かい動きを保存会の方々は丁寧に教えてくれました。私は、一緒に踊る相手と動きをそろえることに気を付けたいです。教えてもらったことを生かし、見ている人の心に響くような神楽にしたいです。

(5年 片平 真歩さん)



神楽保存会の方々との練習は1年ぶりだったので、日下さんや大野さんにも1年ぶりに会いました。去年は初めてだったのでできるのか不安でしたが、保存会のみなさんと練習をしたら踊ることができました。でも神楽に対する思いはあまり入っていなかったのが、今年は神楽についてよく知り、本番までにしっかり思いを込めて練習をして、神楽に対する思いや気持ちも見ている人に伝えられるよう頑張りたいです。

(6年 片平 琉騎亜さん)



ぼくは久しぶりに練習をして、覚えているか少し不安だったけれど、みんな覚えていたので、あとは細かいところを直すだけだと思います。これからみんなと一緒に協力をして、掛け声を言わなくても全員同じように動けるように、頑張りたいと思います。

(6年 高野 快晴さん)



久しぶりに神楽をして、体のあちこちが疲れたけれど、これから手を大きく上げるなどいろいろなことを教えてもらい、完成度を高めていきたいと思いました。細かいところなどもしっかり完璧にできるように、頑張っ神楽に取り組みたいです。

(6年 鎌田 未来さん)

私が神楽を教えてもらって約1年が経ちました。踊れるか不安でしたが、神楽保存会の日下さんと大野さんが教えてくださったので、その不安もなくなり、自信を持って踊れました。今年も踊ることになって、あらためて神楽をどう伝えていくべきなのかを考え、6年生としてしっかり真剣に自信を持って踊れるように努力をして、発表会では頑張りたいと思います。

(6年 大槻 夏海さん)

○講師から

深谷神明神楽は、戦後間もない時期に、当時、深谷地区の若者が白石鷹巣神楽を習得し、この深谷に伝えました。それから数十年が経ち、一時活動を中断しましたが、今は深谷小学校の子供たちがこの深谷神明神楽を伝承していただけるのは本当にありがたいことです。子供たちも、日本の伝統ある神楽を通して、神話や由来等を学ぶことで日本人の「心」を学ぶ機会が出来ることは非常によいことだと思います。神楽を通し、深谷地区の風土と誇りを学んでもらえるように、これからも、私たち深谷神明神楽保存会は協力していきたいと思います。

深谷神明神楽保存会 日下 秀雄 氏

○教職員の声

深谷小学校の5年生が代々踊り継いできた深谷神明神楽。今年度は5年生が1名ということもあり、5・6年生12名で踊ります。当日は、神楽保存会から2名の方に来ていただいて、曲の始めから細やかに踊り方を教えていただきました。昨年度に一度踊っているとはいえ、神楽独特の体の使い方や道具の動かし方など、子供たちはさらに美しく踊るために真剣に見ていました。12月には白石市古典伝承の館碧水園で、山元町立坂元小学校との神楽交流会も予定されています。踊りの披露と共に、地域の方々の神楽に対する思いも伝えられればと思います。今後も神楽保存会の方たちとのつながりを大事に、子供たちとともに取り組んでいきます。ご指導くださった神楽保存会の方々に、深く感謝申し上げます。

5・6年担任 高野 知子 先生

○教育事務所から

学校が核となり、地域に残る伝統文化の継承を未来へとつなげていく取組は、踊り方だけでなく、地域の方の思いや願いも着実に子供たちへと引き継ぐことができる素晴らしい活動でした。発表会や交流会で、多くの人の心を動かす神楽が演じられることを期待しております。

角 田 市 の 地 域 学 校 協 働 活 動

1 今年度の事業への取組について

地域学校協働本部の令和5年度設置に向けて、今年度は地域・家庭・学校が相互に連携して子供を育てるネットワークの構築及び学校教育支援の体制整備に注力して事業を展開してきた。

2 地域学校協働本部について

今年度は、「地域学校協働活動ネットワーク会議・研修会」を7月と12月に開催した。その構成メンバーは以下のとおりである。また、本事業の更なる推進を図るため、今年度から地域学校協働活動教育推進員（コーディネーター）を生涯学習課内に1名配置した。

＜角田市地域学校協働活動ネットワーク会議・研修会の構成メンバー＞

- ・各小・中学校の校長及び地域連携担当教職員 ・各校PTA会長 ・市子ども会育成会会長
- ・各行政区自治センター長 ・各行政区地域振興協議会会長 ・教育委員会 ・まちづくり政策課

3 事業紹介

(1) 家庭教育支援

事業名	内 容	備 考
「ふあみふあみ」 (家庭教育支援事業)	活動をとおして親子の愛着形成を促進するとともに子育てについて「気づき」を得られるような場を提供する。(全4回) ①「まっくらやみの宝さがし」 内容：親子防災教室等 ②「おひるねアートとフルーツサンドでおしゃれカフェ」 内容：仙台大学柴田教授の講話と写真撮影会 ③リトミック（1回目） ④リトミック（2回目）	【対象】未就学児とその保護者 【会場】角田市スポーツ交流館 角田市市民センター (和室・談話室等) 【参加人数】 ①34名 ②50名 ③37名 ④23名
家庭教育学級	市内保育施設で行われる、子供の基本的なしつけや親の役割等の学習に対し支援を行う。	【対象】未就学児とその保護者 【会場】市内保育施設（全6施設）



【ふあみふあみ（「おひるねアートとフルーツサンドでおしゃれカフェ」 / リトミック）】

(2) 地域活動支援

事業名	内容	備考
ジュニア・リーダーの育成	<p>子ども会活動に必要な心構えや子供への接し方、ファシリテーションの仕方等について学習するとともに活動をとおしてリーダーを育成する。</p> <p>①定例会（年10回）</p> <p>②「宇宙っ子まつり」への企画参加 ・ステージ発表 ・紙コップロケットづくり</p> <p>③ジュニア・リーダー自主研修会</p> <p>④パフとあそぼう会（6月、12月） 小学生の希望者を対象に異年齢の集団での遊びを教えている。</p> <p>⑤インリーダー研修会 各地区の子ども会育成会の要請を受けて、子ども会活動のリーダーを育成するために実施。</p> <p>⑥角田市子どもフェスティバル参加 ・紙コップロケットづくり</p> <p>⑦角田駅前マルシェへの参加 ・自治センター企画イベントに参加 ・プラバンづくり等</p> <p>⑧ジュニア・リーダー初級研修会 ジュニア・リーダー初級者としての研修を行い、資質向上を図る。</p>	<p>※角田市ジュニア・リーダーの愛称「パフ・ボランティア・サークル」</p> <p>①【会場】角田市市民センター</p> <p>②【会場】台山公園 【参加児童】約120名</p> <p>③【会場】南蔵王野営場</p> <p>④【会場】角田市スポーツ交流館 【参加児童】約50名</p> <p>⑤ 2地区の子ども会育成会から要請があったが、新型コロナウイルスの影響により中止</p> <p>⑥【会場】角田市市民センター 【参加児童】148名</p> <p>⑦【会場】角田駅前広場 【参加幼児・児童】100名</p> <p>⑧【会場】角田市スポーツ交流館 【対象】市内の小学6年生、中学生</p>
角田祭ばやし講習会	<p>郷土芸能の伝承発展と子供の情操を養うために、角田自治センターと角田祭ばやし保存会が連携して全8回の日程で実施している。今年度は8月の「かくだ牟宇姫夏まつり」で地域の方々に演奏を披露した。</p>	<p>【主催】角田自治センター</p> <p>【会場】角田田園ホール</p> <p>【対象】角田地区の児童生徒</p> <p>【参加児童生徒】19名</p>



【ジュニア・リーダー（自主研修会 / パフと遊ぼう会）】

【角田祭ばやし講習会】

(3) 学校教育支援

事業名	内容	備考
本の読み聞かせ	業前活動の読書タイム（10分間）に読み聞かせボランティアによる児童への本の読み聞かせを行った。	【会場】枝野小学校 【回数】6月～2月 月1回 【対象】第1学年～第3学年児童 読み聞かせボランティア3名
学習活動支援（国語） 書きぞめ学習支援	書きぞめボランティアによる毛筆学習の指導や指導補助を行った。 今年度は市内の2校に学習支援を行った。	【実施校】北郷小学校、角田中学校 【時期】12月上旬～中旬 【対象】 小学校：第4学年～第6学年 中学校：第1学年
学習活動支援（社会） 戦争体験講話	学校支援ボランティアの方が「戦争体験の記憶と平和について」という演題で講話を行った。	【実施校】角田小学校、桜小学校 【対象】第6学年児童
学習活動支援 （社会・総合） 環境学習「水道教室」	第4学年の社会及び理科の授業のとして、「水はどこからきているのか、きれいな水を作るには」という課題で講話と実験を行った。また、大学教授等を講師に、川の水質と生き物調査を行った。	【実施校】枝野小学校 【対象】第4学年児童 【講師】地域住民、大学教授 あぶくま川水系角田土地改良区の職員
学習活動支援 （クラブ活動） 地域伝統芸能継承	地域に伝わる伝統芸能に触れ、その良さを味わうクラブ活動に地域の方々が講師となって児童に指導した。	【実施校】藤尾小学校 【対象】第4学年～第6学年 【講師】角田市文化財保護員ほか
キャリア教育の支援 職場体験活動 職業人講話	①職場体験活動受入れ事業所の紹介 ②職業人講話の講師依頼と連絡調整 ③「職業人の話を聞く会」の講師選定・講師依頼及び連絡調整	①【実施校】北角田中学校 【対象】第2学年生徒70名 【事業所】市内28事業所 ②【実施校】角田中学校第2学年 【対象】第2学年生徒188名 【講師】5名 ③【実施校】北角田中学校 【対象】第1学年生徒65名 【講師】19名



【読み聞かせ】



【地域伝統芸能を学ぶ】



【職業人講話】

(4) 放課後子ども教室

事業名	内容	備考
放課後子ども教室	<p>地域の方々の参画を得て、子供たちとともに勉強やスポーツ・文化活動による地域住民との交流を通じて、地域の世代間交流及び地域活性化の一助とする。</p> <p>①学習サポート（毎月曜日） ②花植え、野菜づくり（5月） ③夏休み子どもイベント（8月） ④グランドゴルフ大会（8月） ⑤料理教室（11月）</p>	<p>【主催】 ①～④：小田自治センター ⑤：小田地区振興協議会</p> <p>【場所】小田自治センターほか</p> <p>【対象】地区民全般</p> <p>学習サポートへの参加児童16名 学習サポートボランティア4名</p>



【放課後子ども教室（学習サポート / 野菜づくり / グランドゴルフ大会）】

4 成果と課題

(1) 成果

- ① 令和5年度の角田市地域学校協働本部の設置に向け、市内の小・中学校と地域（自治センター・地区振興協議会）及び各校PTA会長等を構成メンバーとした「ネットワーク会議・研修会」を年2回開催し、学校・家庭・地域のネットワーク構築の土台づくりを図った。
- ② 学校教育支援の充実に向けた「学校支援ボランティア」派遣体制の整備を図った。
 - ・「学校支援ボランティア」登録一覧を作成
 - ・書きぞめ学習補助や読み聞かせ、戦争体験の講話など学校支援ボランティアによる学校支援
 - ・職場体験・職業人講話などの受け入れ先事業所及び企業リストの作成

(2) 課題

- ① 各校及び地域住民・保護者への地域学校協働活動の更なる啓発
- ② 学校運営協議会の立ち上げを想定した地域学校協働本部体制の在り方の整理
- ③ 家庭教育支援では、子育て世代の現状に合わせた講座内容の工夫とボランティアの人材開発
- ④ 地域活動支援では、少年教室の充実とジュニア・リーダーの人材の募集
- ⑤ 放課後子ども教室では、本市の実情を踏まえた放課後の居場所づくりの在り方の検討

角田市 角田市立藤尾小学校(クラブ活動) 「北根の田植え踊りをしよう」

○市町名 角田市

○学校名 角田市立藤尾小学校

○期 日 令和4年9月27日(火)

○内 容

クラブ活動「北根の田植え踊りをしよう」

- ・地域に伝わる伝統芸能に触れ、その良さを味わう。

○地域の方々

宮城県文化財保護指導員・角田市文化財保護員

小野 貴嗣 氏

藤尾地区振興協議会町おこし委員会

芦名 秀夫 氏 赤坂 富夫 氏

荒川 博樹 氏

○児童の声

- ・地域伝統芸能クラブで太鼓や盆踊りをしてきました。その中で一番心に残っているのは、「北根の田植え踊り」です。4年生のときは、6年生や担当の小野さんなどにアドバイスをもらいながら練習してきました。5年生になってバランスよく踊れるようになり、すごくうれしかったです。これまで続けて努力してきたよかったです。来年度は、統合して金津小になりますが、田植え踊りを忘れずに踊りたいです。

(5年 氏家 美空さん)

- ・地域伝統芸能クラブに2年続けて入っています。毎回、新しい学びがあります。「北根の田植え踊り」では、足の出し方や扇子の動かし方など、細かいところまで教えてもらえるので、とても上達します。これからも地域の方々に教えてもらいながら、藤尾地区を盛り上げていきたいです。地域の方々、これからもよろしくお願ひします。

(5年 玉手 夏果さん)

- ・地域伝統芸能クラブに入ってよかったとことがあります。それは地域の方々が学校に来てくださって、横笛の吹き方や「北根の田植え

踊り」を教えてくださいましたことです。とても楽しかったです。横笛を吹くこつはまだつかめていませんが、もっと横笛の練習をして上手に吹けるようになりたいです。そして、たくさんの人に地域伝統芸能に興味を持ってもらい、広めていけるようになればいいと思います。

(4年 澤田 結衣さん)



- ・私が地域伝統芸能クラブに入ろうと思ったきっかけは、昨年亡くなったひいおばあちゃんが、昔、「北根の田植え踊り」を踊っていたからです。はじめは、扇子の持ち方や動かし方が難しく大変でしたが、練習を重ねるうちに少しずつできるようになりました。夏休みに地域のお祭りに参加してたくさんの人に自分たちの踊りを見てもらえたことがうれしかったです。

この「北根の田植え踊り」は、過去に一度途絶えてしまったそうですが、地域の方の手によって復活しました。私もこの踊りを受け継いでいきたいと強く思いました。これからも「北根の田植え踊り」を大切に踊り続けていきたいです。

(4年 土生 未結さん)

○講師から

令和元年6月より、クラブ活動として藤尾地区に伝わる伝統芸能を指導しています。プログラム内容は以下のとおりです。

1. 藤尾盆踊り

お囃子の鑑賞と体験。主に和楽器(太鼓・打鉦)

に触れる時間にしていきます。児童には、各々篠笛を貸し出していて、自宅でも練習できるようにしており、クラブ内では発音の仕方や音色の確認をしています。

2. 北根の田植え踊り

唄に合わせて踊りを練習しています。体の動作だけでなく、扇子（左手）と鈴（右手）の所作を教えています。練習の成果を夏まつりや地域の神社の例祭、民族芸能大会にて披露してきました。

3. 伝承神楽（大谷神楽・金津神楽・藤田神楽）

お囃子の生演奏を聴いてもらっています。神楽は12演目あり、難易度が高く1演目に20分～30分を要するので、クラブでは映像を見ながら舞の説明をしています。

4. 金津七夕（今年度から実施）

竿灯行列の際に唄う和歌「七夕のと渡る 舟の梶の葉に いく秋かきつ 露のたまづさ」（詠人 藤原 俊成）を合唱しています。

参加している児童は、動作を覚えるのが早く、話も真剣に聞き質問にも即座に考えています。意味が分かってくるにしたがい所作も良くなっています。これらのプログラムで使用する道具類は、各保存会の協力で実際の道具を使い、児童と一緒に準備してくれるので高齢の伝承者も助けられています。

我々としても、同時に由来や意味を教えることができ、無形文化財の本質である、人から人へ言葉で伝えることが、現在までこの地域に残されてきた大切な文化であり、未来につながる機会を得ています。来年4月からは隣の地区である枝野小学校と統合して、新たに金津小学校が開校されますが、クラブが存続できるかは未だ不明です。幸いなことに枝野地区には島田神楽があり、東日本大震災をきっかけに大森太鼓を作って次の学年へ繋いでいます。どの文化芸能にも伝承者がいて、伝え残そうとする思いは一緒です。後継者となりうる児童の人数も減ってきている中、その可能性を信じて伝えていける環境を作ることが、現継承者の務めと考えています。

（小野 貴嗣 氏）



○教職員の声

藤尾小学校の地域伝統芸能クラブでは、藤尾地区振興協議会町おこし委員会伝統芸能伝承グループの皆さんにクラブ活動の時間に学校へ足を運んでいただき、藤尾地区に伝わる「藤尾盆踊り」や「北根の田植え踊り」などの伝統芸能を教えています。

児童の中には、地域に伝わる踊りに関して詳しく知らない児童もいます。保存会の方が話をしてくださる地域の歴史やそれぞれの伝統芸能に込められた願いについて、児童はじっと耳を傾けて聞いています。また、地域の方のアドバイスを受けながら一生懸命に太鼓や笛の演奏、踊りの練習に熱心に取り組み、地域の伝統芸能に親しんでいました。

クラブでの活動を通して、児童は昔から人とのつながりや自然の恵みを大切にしてきた自分たちの地域に誇りを持つことができているようです。また、このクラブ活動をきっかけに地域の行事に参加する児童が増え、地域とのつながりがより深くなってきたように感じます。

いつも温かく児童に指導してくださる保存会の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

（橋本 七重 先生）

○教育事務所から

地域の伝統や思いが子供たちにしっかりと引き継がれ、地域への愛着を深めているすばらしい活動でした。子供たちと地域の方が手を取り合い、より良い地域づくりが続くことを期待します。

角田市立角田小学校

〒981-1505 宮城県角田市角田字牛館 41 番地
 Tel: 0224 (63) 1144・1145 Fax: 0224 (63) 0365
 児童数: 534名
 P会員数: 407名

【教育目標】
**夢と志を持ち、しなやかに
 たくましい児童の育成**



地域と連携した特色ある教育活動

<p>あいさつ運動 「志教育」「持続可能な社会を実現する人づくり」の一環として、中学校、高校、地域の方と連携し「あいさつ運動」を実施しています。</p> 	<p>ボランティアの皆様と連携 「読み聞かせ」「図書室の本の返却・整理」「見守り隊」など、地域や保護者の方々に、ボランティアとしてご協力をいただいています。</p> 	<p>夢授業 授業に、地域からゲストティーチャーを招き、子供たちに将来の「夢」や「志」を持たせる取り組みを行っています。</p> 	<p>地域とつながる総合的な学習 角田市のキーワード「豆」「梅」「米」「鮭」「夢」を総合的な学習の時間の軸にし、各学年の発達段階に応じた学習を行っています。</p> 
--	--	--	--



角田市立枝野小学校

〒981-1503
 宮城県角田市島田字三口 71
 TEL 0224-63-1148
 FAX 0224-63-0367
 全校児童数: 48名
 PTA 会員数: 37名



農業体験交流 (全校)



枝野小学校区農業体験交流実行委員会の事業として今年度は全校児童が地域の方々と共に田植え及び稲刈り体験を行う。令和元年度は東京の下目黒小学校の児童との交流事業を実施した。児童は「あぶくま農学校」開・閉校式に参加し、稲刈りの後に修了証書を受ける。

納豆・味噌づくり体験 (3年)



3年児童が地域の方々の協力のもと、校内の畑で大豆を育て、それらを使用して納豆づくり・味噌づくりに取り組んでいる。味噌はパック詰めや販売も児童が行い、保護者や地域の方々に好評をいただいている。

大森太鼓 (4～6年)



被災地支援のため平成24年度に地域の有志と学校が立ち上げ、高学年児童が、校内行事及び校区内の枝野自治センターまっぴりの演奏活動を行っている。毎年、卒業前に6年生から4年生へ引き継がれており、今年度の6年生から11代目となる。

角田市立藤尾小学校

～ ありがとう藤尾小学校！感謝の気持ちをこの一年に～



〒981-1501 角田市藤尾字横内 51-2
 TEL: 0224-63-1149 FAX: 0224-63-0364
 E-mail: fujio-espr@kakuda-c.ed.jp
 児童数 81名 P 会員数 56名

学校教育目標 『主体的に生きる心豊かな児童を育成する』

<p>地域の『見守り隊ボランティア』</p> 	<p>地域と連携した伝統的な田植え体験</p> 	<p>生業体験で地域の特産品への理解を深める</p> 	<p>ゲストティーチャーと『北風の田植え祭り』</p> 
--	---	--	---



角田市立桜小学校



〒981-1522 角田市佐倉字小山 78番地の1
 TEL 0224-63-1150 FAX 0224-63-0346
 児童数 163名
 PTA 会員数 123名

<p>地域と連携した福祉交流活動</p>  <p>宮城緑風園(養護老人ホーム)訪問や虹の園の方々に招待しての七夕交流会の実施など、積極的に体験学習を進めています。</p>	<p>地域と連携した環境教育</p>  <p>地域の方々の協力を得て、EM菌発酵液等を作り、河川の水質改善に取り組みます。</p>	<p>地域と連携した読書活動の充実</p>  <p>土地改良区や美里ネットの皆様から、角田の治水・用水路・水質について学んだり、実際に揚水機や排水機場を見学し学びを深めています。</p>	<p>地域と連携した読書活動の充実</p>  <p>更生保護女性会の皆さんによる読み聞かせをいただいています。読書好きな子どもたちは毎回家しみにしています。</p>
---	---	---	--



角田市立北郷小学校

児童数 144名 P会員数 116名

〒981-1524 角田市岡字阿弥陀入1-1-2
TEL 0224-68-2345 FAX 0224-68-3549

「一人一人の笑顔が輝く学校」を目指して



豊かな心の育成 消防署の協力を得ながら、防災訓練を計画的に実施し、自衛の意を大切にする指導を通して、命と人を尊重する態度を育成する授業と学習に取り組んでいます。

創造性を育む多様な学び 地域の様々な方々と授業を共にすることで、子供たちの創造性を育み、これからの未来社会を切り拓くための実践、能力を育成するとともに、それを實現できる力を身に付けようとしています。

たくましく健やかな体づくり 県民マラソン等の経験により、粘り強く運動に取り組む姿勢を育むとともに、地域の安全推進隊や警察官の指導の下に、その実践を体験する体育的行事を推進しています。

夢・志の育成 学園に一番近い小学校としてJAXA角田宇宙センターと連携し、宇宙についての学びに積極的に取り組む機会をもち、夢と志を持って自分の夢に挑戦し、子供たちの育成に取り組んでいます。



角田市立横倉小学校

〒981-1512 角田市岡田町臥巻字杉ノ里7
TEL 0224-63-1146 FAX 0224-63-0329
e-mail yokokuraes@kakuda-c.ed.jp

校長 杉山 義雄
全校児童数 151名 P会員数 123名

地域と共に 人との豊かなかかわりの中で



見守り隊の方々と対面式 子供たちの安全意識を高め、見守り隊の方々と対面式を行いました。

ボランティアによる種作指導 地域のボランティアさんから田植え指導を受けました。

ふるさと教室(土器作り) 講師の先生をお招きし、土器の彫刻を体験しました。

角田市立角田中学校

学校教育目標

自ら学び、自他を尊重し、
心身共にしなやかな 生徒の育成
～校訓～ 自学・協働・強期

〒981-1505
角田市角田字牛館1-2
TEL 0224(63)1141・2
FAX 0224(63)0354
生徒数555名 P会員数497名



志宣言 未来の自分の姿をみんなに伝えます

職業人の話を聞く会 職業人の話を聞き、仕事について考えます

資源回収 環境教育にもつながります

宇宙教育 JAXAの方から話を聞きます



角田市立北角田中学校

〒981-1521 角田市江尻字駒原5-0 TEL.0224-68-2323 FAX.0224-68-3384

生徒数 214名
P会員数 194名
(令和4年5月1日現在)

地域と連携した教育活動(地域学校協働活動)



地域で働く方に学ぶ【第1、2学年】 JAXAからも講師をお招きしました

認知症サポーター養成講座【第1学年】 地域包括センター職員の方々と共に

高校出前授業【第3学年】 近隣の高校のご協力をいただきました

子育て体験学習【第3学年】 市の保健師さんをお招きしました

蔵王町の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取組について

蔵王町の地域学校協働活動では、地域・家庭・学校が連携し地域全体で子供を育てることを目的とし事業を展開している。令和4年度は特に毛筆指導、蔵王町の歴史の講話などの学校教育支援に力を入れた活動が主であった。

また、家庭教育支援では子育てサポーターチーム「すまいるハート」の関係機関と連携した家庭教育支援活動を行っており、コロナ禍においても託児の対応など積極的な活動を行っている。

2 地域学校協働本部について

現在、蔵王町には地域学校協働活動本部が設置されていないが、令和5年度よりコミュニティ・スクールが町内小中学校（計8校）に設置されることに伴い、本部の設置も検討している。地域コーディネーターについては2名が常勤で配置されている。

3 事業紹介

(1) 家庭教育支援

事業名	内容	備考
子育てサポーターチーム「すまいるハート」の活動	新型コロナウイルス感染症の影響などにより、自粛していた活動を徐々に再開し、講演会時や他課主催の事業における託児を行った。今年度は子育てサポーターの活動周知のため、手書きのメッセージカードを作成し、乳幼児健診の際に保護者に渡した。 ほか、県主催の研修会への参加（1回）とチーム内での定例会（6回）を行った。	現在、27名の子育てサポーターが登録。
公民館講座「リフレッシュ♪ママカフェ」	昨年度オンラインで開催したママカフェを例年どおりの対面で開催する。育児で毎日忙しい親にリフレッシュしてもらおうと同時に学びの場を提供し、その間子育てサポーターは託児を行っている。	2～3月に開催予定。



【子育てサポーターの活動】

(2) 地域活動支援

事業名	内容	備考
ジュニア・リーダー事業・研修会	地域子ども会活動の支援及び地域活動の活性化を目指し、中高校生を対象に研修会を実施し、次世代リーダーとしての知識や技術の習得を目指す。 イ) 初級研修会 【期日】6月25日(土)～26日(日) 【会場】松島自然の家 ロ) 子ども会活動や地域活動の支援	町育成会との連携。 登録者：高校生60名/中学生29名 イ) 子どもの理解，ジュニア・リーダーの役割について学び，必要な基礎知識や技術の習得を目指す。 ロ) 町内5つの支部が各地区児童館を拠点に児童厚生員の指導のもと地域活動に参画。
インリーダー研修会 (中止)	小学4～6年生を対象に子ども会リーダーとしての知識や技術の習得を目指す。 【期日】8月10日(水)～11日(木) 【会場】松島自然の家 【内容】レクリエーション，海遊びほか	町育成会との連携。
世代間交流事業	各種団体等と共催し，広い世代の参加を呼びかけ，交流を深める取組を実施。 (開催) 円田地区モルック大会 【期日】11月27日(日) 【会場】蔵王町立円田小学校 体育館 【参加】38名 (中止) 円田地区凧作り教室，円田地区凧あげ大会，永野地区ふるさと伝承教室	地区公民館・育成会・母親クラブ・PTA等と共催。
蔵王町子ども会大会	子ども会会員，ジュニア・リーダー，成人指導者が共通の体験活動を通して，交流と親睦を深める。 【期日】10月30日(日) 【会場】蔵王町ふるさと文化会館 【内容】ニュースポーツ大会	町育成会との連携。
ざおうっ子伝承芸能発表会	民俗芸能について理解を深めるとともに，会員相互の交流と親睦を深める。 【期日】11月6日(日) 【会場】蔵王町ふるさと文化会館 【参加】約54名	蔵王町子ども伝承・創作芸能推進協議会との連携。



【ジュニア・リーダー活動】



【円田地区モルック大会】



【伝承芸能発表会】

(3) 学校教育支援

事業名	内 容	備 考
本の読み聞かせ	本好きな子供に育ててほしいという願いを込めて実施。読み聞かせをとおして、本との出会い、友達との共通体験を得ることができる。	町内全小学校で月1回～2回程度、読み聞かせボランティアを中心に活動。 【実績】(12月末現在) 支援件数：36件 支援者数：延べ142名
登下校指導・見守り	小学生登下校時に、児童が安全に登下校できるよう指導見守りを行う。	町内2校(円田小学校、宮小学校)区で実施。 【実績】(12月末現在) 支援件数：241件 支援者数：延べ763名
学習支援活動	町内の小中学校における学習支援(指導・補助)を行う。 【国語】毛筆指導、蔵王町に伝わる昔話 【社会】蔵王町の歴史について、蔵王町の産業について、蔵王町の公共施設について 【理科】流れる水のはたらき、地層の学習 【総合的な学習ほか】 福祉体験、地域を知る学習、田植えの学習、稲刈り、防災教室、さといもの植え付け栽培、熊の学習、施設見学ほか	町内全小中学校にて実施。 【実績】(12月末現在) 支援件数：44件 支援者数：延べ103名
校外活動支援	町内の小中学校における校外学習の支援(指導・補助)を行う。 登山指導 ほか	町内全小中学校にて実施。 【実績】(12月末現在) 支援件数：6件 支援者数：延べ8名
キャリア教育	中学生が町内の事業所等において職場体験を実施するに際し、事前学習として「マナー講座」、「キャリアセミナー」を実施。社会人との関わりを持つことで、将来の自分を深く考えるきっかけをつくる。	町内中学校で実施。



【田植えの学習】



【キャリアセミナー】



【福祉体験】

(4) 放課後子ども教室

事業名	内容	備考
宮地区 放課後子ども教室	放課後児童クラブと連携し、児童の安全安心な活動拠点（居場所）を設けると共に、地域ボランティアからの協力を得て体験活動を提供している。 【内容】 ペットボトルのキャップを使用した工作活動やゲーム大会	宮地区公民館で1月に実施予定

4 成果と課題

(1) 成果

家庭教育支援では、子育てサポーターの活動周知のためにメッセージカードを作成し、乳幼児健診の際に保護者に渡した。育児の辛いことやストレスを一人で溜め込まないように、子育てサポーターという身近な存在が活動していることを知ってもらう良い機会となった。

地域活動支援では、行事をとおして世代間の交流を促すことができた。また、ジュニア・リーダー活動においては感染症の影響で活動を見合わせていた時期もあったが、対策を講じながら体験活動や創作活動を実施。意欲的に活動に取り組む姿が見られた。

学校教育支援、放課後子ども教室では、多種多様な技能を持ち合わせたボランティアバンク「ざおうっ子応援団」の登録者を数多く活用し、子供たちの「学ぶ意欲」向上と、地域住民と子供が繋がる橋渡し役を担うことができた。

活動に携わるボランティアの方々は、自分の知識や特技を生かし、子供たちや地域に必要とされること、感謝されることに大きな喜びと生きがいを感じている。

(2) 課題

家庭教育支援では、子育てサポーターが主体となる能動的な家庭教育支援を実践できるようサポートしていくことが重要だと考える。また、子育てサポーターの活動意欲を維持するための取組も必要になる。家庭教育全般における情報の発信等も今後の課題である。

地域活動支援では、子ども会活動などをはじめとした地域の取組が衰退傾向にある。人材の育成と同時にその人材が活躍できる仕組み・枠組みの構築が必要であるとともに、必要課題だけでなく、欲求課題を満たすことができる活動を検討していく必要がある。

学校教育支援では、現在依頼するボランティアに偏りがあるため、特定の人材だけができる活動ではなく、より幅広い人材が活躍できる活動を地域・家庭・学校の連携により考えていきたい。さらに、ざおうっ子応援団に登録しているボランティアの方々の活動における意識の共有や個人の資質の向上のための研修会を行い、より質の高い支援活動を行っていきたい。

放課後子ども教室は、年間に行っている回数の少なさと開催地域に偏りがある。放課後児童クラブと連携を取りながら今後の開催地域、時期、内容を考えていきたい。

全体的に見るとどの活動でも各々に課題があるが、共通していることは、現状で満足せず少しずつ変化を加えながら取り組んでいく必要があることだと考える。

蔵王町 蔵王町立遠刈田中学校(総合的な学習の時間)「マナー講座」

○市町名 蔵王町

○学校名 蔵王町立遠刈田中学校
第2学年 17名

○期 日 令和4年8月31日(水)

○内 容 ・総合的な学習の時間として、職場体験学習に向けての心構えや、目上の人に対する礼儀や接客マナー等について学ぶ「マナー講座」を実施する。

○講 師

アクティブリゾーツ宮城蔵王

フロント担当 主任 小熊 広海 氏



○生徒の声

第一印象は6秒で決まり、変わるまで6か月かかるということが分かりました。

挨拶は、敬礼・普通・会釈で角度が変わることを学びました。私は、挨拶を会釈でしていたので、「普通」の30度の角度を意識していきたいと思いました。初対面の人には「1・2, 1・2, 1・2・3(体を倒す, 制止, 体を起こす)」を意識したいと思いました。社会人になっても使っていきたいです。

身だしなみや動作をしっかりして、マナーを守って職場体験に参加したいです。



第一印象をあたえる場面や場所、礼のタイミングや角度について学びました。

普段、何気なく聞いたことはあるけれど、詳しく教えていただくのは今回が初めてでした。今後の人生でも役に立つようなことばかりだったので、大切にしていきたいです。

今回習ったことを心掛けて、職場体験先でも頼ってもらえるように頑張りたいです。

ファッションと身だしなみの違いの話が印象に残りました。「ファッションは自分のため、身だしなみは相手がいることを意識しながら」という話は、今後の生活にも生かしていきたいです。

身だしなみや礼儀などに気を付け、良い第一印象をもってもらえるように心掛けながら職場体験に臨みたいです。

今日のマナー講座では、ルールとマナーの違いについて教えてもらいました。

私は今まで、ホテルなどでよく目にする姿勢や、



その姿勢の意味などはよく分かりませんでした。けれど、その姿勢のつくり方や意味を教えてもらい、おじぎのポイントなどもよく分かりました。挨拶をするときに、一度に細かいポイントをたくさん意識しなければいけないことが分かり、大変だと思いました。

今日教えてもらったマナーや動作、身だしなみなどを、来週の職場体験で生かし頑張りたいです。



姿勢や礼の角度をあまり気にしたことがありませんでした。他人が見ると「態度の善し悪し」という風にとらえられるのだなということが分かりました。

正しい礼の角度などを、今回の授業を通して学ぶことができよかったです。職場体験では、今回教えてもらったことを生かしていきたいと思いました。



○講師から

将来、社会に出てからはもちろんのこと、日常生活においても、なぜマナーを守らなければならないのか？なぜ大切なのかというところを、同じ地域で働く先輩としてお話しさせていただき

ました。皆さん素直に真剣な姿勢で取り組んで下さり、私もいい刺激となりました。きっと職場体験を通じてまた一回り成長されることと思います。



○教職員の声

普段は家庭と学校の中でだけ生活をしている生徒たちですが、職場体験では学校を飛び出し、社会の一員として働くことになります。

今回のマナー講座では、第一印象を決定する「挨拶、動作、身だしなみ」の話をはじめとして、表情やお辞儀の角度など、接客する上での基本的な内容を丁寧に教えていただきました。挨拶の練習では、はじめは声の小さかった生徒も、小熊先生にアドバイスをもらいながら、徐々に大きく自信を持った声で「いらっしゃいませ！」と言えるようになっていました。

今回のマナー講座で教えてもらったことは、職場体験学習だけでなく、生徒の今後の人生でも役立てていけることだと思います。貴重なお話をいただきました講師の小熊先生に心からの感謝を申し上げます。

○教育事務所から

中学生が社会に出て、「働く」とはどういうことか、体験を通じて学ぶ職場体験学習は、学校の中での学びと異なり、多くの実りが期待できる活動です。地元である蔵王町で働く方から具体的な接客マナーを学ぶことで、生徒の皆さんの意欲が大いに高まった様子がうかがえました。すばらしい職場体験学習になることを期待しています。

(文責：大河原教育事務所生涯学習担当)



蔵王町立円田小学校

〒989-0821 宮城県刈田郡蔵王町大字円田字堀の内28
TEL 0224-33-2036 FAX 0224-33-2596

児童数 87名
P会員数 62名

地域と連携した教育活動(地域学校協働活動)

<p>本の読み聞かせ</p>  <p>ボランティアの方による読み聞かせを行っています。</p>	<p>総合的な学習の時間「円・国・境・縁」</p>  <p>地域のよさを再発見する体験学習を行っています。</p>	<p>校外活動支援</p>  <p>学校行事等では、講師や補助の支援をいただいています。</p>	<p>子ども安全見守り隊</p>  <p>PTA、地域の方々が隊員となり、子供たちの安全を見守ります。</p>
---	---	--	--



蔵王町立平沢小学校

〒989-0831 宮城県刈田郡蔵王町大字平沢字台倉敷02
TEL 0224-33-2024 FAX 0224-33-2538

児童数 67名
P会員数 43名

<p>学校林を活用した交流学習</p>  <p>(柴田農林高校との異校種交流)</p>	<p>福祉体験活動</p>  <p>(白杖体験、車椅子体験、高齢者疑似体験、手話体験)</p>	<p>ふるさと探検</p>  <p>(縦割り班による、学区内の史跡・名所巡り)</p>
---	---	---



蔵王町立永野小学校

児童数 100名
P会員数 78名

〒989-0821 宮城県刈田郡蔵王町大字円田字北浦16番地
TEL.0224-33-2014 FAX.0224-33-2593



<p>学校間交流</p>  <p>練馬区豊浜小学校と行っている学校間交流。昨年度と今年度はオンラインを活用して実施します。</p>	<p>地域の特色体験</p>  <p>稲作や製麹場、地域探検などの活動を多く取り入れ、ふるさとの特色や良さについて体験を通して気付く学習を進めています。</p>	<p>読書ボランティア</p>  <p>読書ボランティアの方々による読み聞かせを行い、子どもたちの読書への興味・関心を高めています。</p>
---	--	---



蔵王町立宮小学校

〒989-0701 宮城県刈田郡蔵王町宮字井戸掛33番地
TEL.0224-32-2004 FAX.0224-32-2008

児童数 132名
P会員数 137名

<p>爽清牛体験交流活動</p>  <p>酪農について、実際に牛舎に行っておさやりなどの体験をし、学びます。</p>	<p>小野訓導追悼式</p>  <p>令和3年で100回忌を迎え、地域の方々と感謝の気持ちを表しました。</p>	<p>スキー教室</p>  <p>スキー教室はたくさんの方々の協力に支えられています。</p>
--	--	---



蔵王町立遠刈田小学校

〒989-0916
宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉字小妻坂山25

学校教育目標
「知・徳・体」の調和のとれた
人間性豊かな児童を育成する。

Tel 0224-34-2104 FAX 0224-34-2163
児童数 74名
P会員数 60名

トランペット鼓笛隊



運動会をスタートに、大道芸フェスティバルやこけし館まつり等で遠小の伝統を披露します。

異校種間交流



中学校を見学することで互いに高め合い、一人一人が充実した中学校生活を目指します。

こけしの学習



こけし館を見学したり、工人の方に教えていただきたりしながら給付け体験をします。



蔵王町立円田中学校

〒989-0831 刈田郡蔵王町大学平沢字伊原沢下2-3

電話 0224-33-2028 FAX 0224-22-7016
生徒数 115名 P会員数 101名

蔵王を知る



地域の施設や支援ボランティアの方々と連携し、蔵王の産業・自然・歴史等について、地域を訪問して学んでいます。

蔵王を体験する



町教育委員会生涯学習課と各事業所等との協働により、キャリア教育を推進しています。また、震災学習を通して、自分たちが生きる地域や地域での役割を伝える学習を行います。

蔵王を発信する



町農林観光課、地域事業所等と図書館市役所観光部観光誘致課と連携し、蔵王町の観光資源や特産物をPRしています。

地域中小・高との連携



白石商標をはじめ、地域住民と協働連携し、小中高連携による活動や発表会を通して、社会の一員としてよりよく生きることの大切さを学びます。



蔵王町立宮中学校

宮中は地域と共に歩み、地域に根ざした学校を目指しています。

〒989-0701 宮城県刈田郡蔵王町宮字馬飼16
生徒数 109名
電話 0224-32-2304 / FAX 0224-22-8022 P会員数 100名

修学旅行「PR活動」



町農林観光課、教育委員会、町内事業所と連携し、蔵王町の観光資源の紹介や特産物を販売するなどPR活動を実施。(3年)

樹氷めぐり



地域の自然にふれるをテーマに、教育委員会、地域関係機関と協働し、すみかわスノーパークで樹氷見学会を実施。(2年)

蔵王登山



地域に学ぶをテーマに事前学習を行い、登山ボランティアの方々と連携し蔵王の自然に親しむ活動として登山を実施。(1年)

地域調査学習



教育委員会、町内事業所と連携し、ふるさと蔵王の自然・歴史・文化産業について自らテーマを決め、地域調査学習を実施。(1年)



蔵王町立遠刈田中学校

自主 敬愛 活力

〒989-0916 宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉字小妻坂山16
生徒数 47名
TEL 0224-34-2203 FAX 0224-35-3139 P会員数 42名

修学旅行 ふるさとPR活動



修学旅行先で蔵王町と遠刈田温泉の素晴らしさを伝える活動を行っています。収穫の喜びをいただき、産物市で実施しました。

蔵王の自然 体験学習



「ざぶらう子産産園」の方々の支援で、登山、スキー教室、樹氷見学会など、ふるさと蔵王の自然体験を楽しんでいます。

ゲストティーチャーは地域の方々



農業体験、華、書写、芸術家特別授業など地域の方々から直接ご指導いただくことで、貴重な学びの機会になっています。

全校生徒による和太鼓演奏



全校生徒が練習活動で和太鼓演奏の指導を受けて、和太鼓演奏の練習に取り組み、「遠中祭」で発表しています。